

長年の夢は 森の中でペンション経営だった。

●静かな森の中でペンションを経営する久郷岳彦さんは、旭川から家族とともに移り住んで2年、ようやく地域の暮らしにも慣れてきたところだ。

10年ぐらいい前から毎年キャンプで道東に通ううちに、「こういう所で、人生が過ぎたらいいな」と思うようになり、新しい土地での生業として宿屋業を選んだという。前職が司法書士だったことを考えると、仕事もまったく未知へのチャレンジだった。

夫の突然の話に最初は戸惑ったものの、料理屋で修行しながらペンション開業に備えた妻の百合子さんは、弟子屈での暮らしをこう語る。

「朝、鳥が来るのを見ていたんだけど安らぐし、仕事はたくさんあるけど気持ちに余裕ができた気がします。慣れていないので接客もまだまだ難しいですけど、気負わず自然体でやれば良いと思う」。その言葉に同意するように久郷さんも大きくうなずいた。

現在長女の愛美さんは旭川の祖母の家から高校に通い、長男の天就（たかなり）君は地元の中学に通いサッカー少年団で活躍している。



●くごう たけひこ / 1959年生まれ、旭川出身。旅行やアウトドアが好きで、いつかは自然の中で暮らしたいと願うようになる。家族を説得して2008年に移住、現在はペンションオーナーとして奮闘中。

美留和 ●「きららの宿・すばる」経営
久郷岳彦さん、百合子さん、天就君

「子どもには、親のエゴを押しつけてしまったかもしれない」とちよつと心配する気持ちもある久郷さんだが、天就君は行事を通して地域の人々と交流したり、青少年の野外活動に数多く参加するなど、小さな町ならではの体験を楽しんでいる様子をはにかみながら話してくれた。

..... 新しい顔・新しい町民



●岡本義徳さんによれば、岡本家には、「厄年には散財せよ」という言い伝えがあるそうだ。厄除けのために、蓄えたものを散財して「から出直さない」という意味らしいが、岡本さんにとつての散財とは「家」だった。

場所は特定せず、インターネットで日本中の中古住宅を探そうちに見つけたのが、現在住んでいる家。それまで弟子屈には来たこともなかったが、家を取り巻く自然豊かな環境もひと目で気に入る移住を決めたという。

奥春別 ●JA摩周湖職員
岡本義徳さん、葉子さん

2007年12月にまず岡本さんが、そして移住を機に結婚した妻の葉子さんも翌年春には名古屋から移り住み、まさに「ここでの新生活がスタートした」。

「ここで生活するためには、地域の人のちとのつきあひも大切したい」と、移住当初から地域活動にも積極的に参加する彼らに、人々はなにかと声をかけてくれた。そんな結びつきが、就職情報の提供にもつながったのだらう。

岡本さんは、近所で起きた火事の後片付けを手伝ったのがきっかけでJA摩周湖の職員に、葉子さんは弟子屈中学校の臨時職員として勤務している。

「町営牧場の仕事は牛の世話だけでなく、土木、建築、車の整備までいろんなことが勉強できるし、自然の中では生きるための知恵も必要です。弟子屈での生活は自分を変える良いチャンスになった」と、日焼けした顔をほころばせる岡本さんだ。

●おかもと よしのり / 1965年生まれ。名古屋市で運送会社を経営していたが、厄年を迎えて心機一転、2007年に移住を決意する。現在はJA摩周湖の牧場管理係の職員として、町営牧場で働く。

地域とのつながりが、
結果的には「就活」となった。

《新しい顔、新しい町民になるための移住施策の概要》 (平成26年度)

北海道の東に位置する弟子屈町は、昔から摩周湖と屈斜路湖に代表される雄大な自然と、湯治の里として栄えた豊富な温泉郷を有する観光の町として有名です。近年では、そんな恵まれた自然環境や温泉、田舎暮らしを求めて、本町に移住される方が増えています。

「旅行では何度も訪れているが、いざ移住となると不安になる」というのは、多くの方が感じる共通の思いです。厳しい冬の暮らしや生活環境など、移住する前にクリアしなければならないことは多々あります。

弟子屈町では、そうした不安を少しでも解消し、一人でも多くの移住者を迎えられるように平成18年度より専門の相談窓口を設けてさまざまな「移住促進プロジェクト」を実施しています。

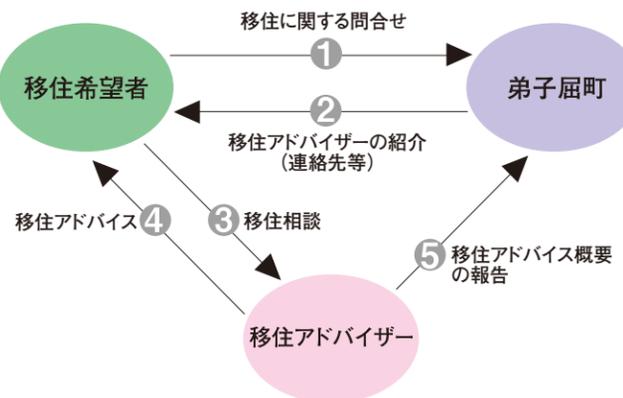


移住アドバイザー制度

後悔しない移住のために

「移住アドバイザー制度」は既に町内に移住されている方がアドバイザーとなり、これから移住する方や移住を検討されている方に対し、アドバイスをを行う制度です。相談方法は電話やEメールのほか、実際にお宅訪問し、移住に至った経緯や都会と田舎のギャップなど、実体験に基づいてアドバイスいただくといったことも可能です。

「移住者はどういった生活をしているの?」「厳しい冬の生活には不安を感じる」「移住して不便だったところは?」などと不安を抱かれている方はぜひ、この制度をご利用ください。



移住体験ツアー

弟子屈町では、移住希望者を対象とした「移住体験ツアー」を実施しています。

夏と冬では全く異なる自然環境や道路状況をはじめ、日々の暮らしに欠かせない商店や病院、学校のことまで、生活全般に関する「知りたいところ」を見学・体験します。旅行で訪れていた時とは違う、生活者の視点で弟子屈町的生活環境を見て、聞いて、体験して不安を解消するツアーです。



《参加者の声》

- 先輩移住者のお宅を訪問し、窓から眺める大自然の景色、自宅にある露天風呂を見て改めて自然の中でのんびり暮らすことの素晴らしさを実感できた。
- このツアーでしかできない冬の生活体験（除雪・スノーシュートレッキング）は北海道の冬の楽しさ、厳しさ、大変さを肌で感じられて、とても参考になった。

体験メニュー

- 先輩移住者お宅訪問** / 道外から移住された方のお宅を訪問、経験者ならではの話を聞けます。
- 北海道住宅見学** / 寒さに強い北海道の住宅を専門家の解説付きで見学します。
- 移住地見学** / 町内各地に点在する移住地をご案内します。
- 交流会** / お酒を飲みながら、地元の方と交流を深める貴重な機会です。
- 町内生活関連施設見学** / 医療機関（病院）、スーパーを見学します。
- 除雪体験** / スコップ、スノーダンプなどを手に取り実際に除雪作業を体験します。（冬季のみ）
- 冬道運転体験** / 特設コースでアイスバーン、わだちなどの冬道路面を運転体験します。（冬季のみ）
- スノーシュートレッキング体験** / スノーシュー（カンジキ）を履いて原生林を散策、雪国ならではの冬の楽しみ方を紹介します。（冬季のみ）

注)ご紹介した移住者の方の情報は、2010年当時のものです。